



●平成 22 年度 国際博物館の日 記念事業●



博物館・動物園セミナー

# 上野の山でツルめぐり

国際博物館の日の記念事業として「3館園連携事業」を実施します。今年度は「ツル」を切り口として様々なアプローチを行い、新しい博物館や動物園の楽しみ方を提案します。

博物館と動物園が一箇所に集まっている上野だからこそできるユニークな「3館園連携事業」です。

1. 日 時 平成22年5月23日（日） 9：15～14：20
2. 会 場 恩賜上野動物園・国立科学博物館・東京国立博物館
3. 対 象 中学生以上30名 なお、応募数が定員を上回った場合は抽選で決定  
(抽選時には、15名まで中・高生を優先扱いとします。)
4. 参加費 1,000円（資料代、昼食代、飲み物込み）  
※「上野のれん会」加盟レストランの協力により特製弁当を準備します。
5. 内 容

## 「ツルのかたち・動き・くらしを観る」恩賜上野動物園

解説—動物解説員 小泉祐里

上野動物園のシンボルマークにもなっているツル。まず動物園で、数種類の生きたツルを見ます。なぜすらりとした美しい姿をしているのか、またどのようにオスとメスが暮らし、子育てをするのか。体の各部分の形やその使い方、繁殖にかかわる行動などを観察しながら、ツルの野生動物としての本来の姿を探ります。  
ここでの観察は、後の二つの博物館での見学にもつながっていきます。



【ヒナの世話をする親鳥】

## 「ツルの科学」国立科学博物館

解説—動物研究部 西海 功

「鶴の一声」とことわざにも言われるような大きな声はなぜ出せるのか？ヒマラヤ山脈を越える上空を飛んでも高山病にならないのはなぜか？  
「松に鶴」は間違いとされているのはなぜか？ツルはなぜ舞うのか？ツルの首はなぜ長いのか？タンチョウの頭が赤く禿げているのはなぜか？  
・・・ツルをめぐる様々な疑問に可能な範囲で科学的にお答えします。



【タンチョウの剥製】

## 「吉祥文様のツル」 東京国立博物館

解説—教育講座室 神辺知加

古代中国では「長寿」や「出世」といった人々の願いを動植物にたくし、願いをこめてそういった動植物の模様を入れた品物や置物を作りました。その文化は日本にも伝わっています。いったい、ツルにはどのような願いがたくされているのでしょうか。博物館ではツルがデザインされているいろいろな美術作品を見ながら、鶴にこめられた人々の願いについてお話しします。鶴にまつわる絵画の驚きの事実も明かします。



【振袖 浅葱縮緬地松竹梅鷹御所車模様】

### 6. 当日のスケジュール

9:15	恩賜上野動物園 正門前集合 受付・集金
9:30~10:30	「ツルのかたち・動き・くらしを観る」 解説：動物解説員 小泉祐里
10:30~10:45	上野動物園→国立科学博物館へ移動
10:45~11:45	国立科学博物館 「ツルの科学」 解説：動物研究部 西海 功
12:00~12:40	昼食 国立科学博物館会議室にて
12:40~12:55	国立科学博物館→東京国立博物館へ移動
12:55~13:55	「吉祥文様のツル」 解説：教育講座室 神辺知加
14:00~14:20	まとめ、質疑応答、アンケート記入など
14:20	東京国立博物館の館内にて解散

### 7. 申し込み

参加ご希望の方は往復ハガキに ①行事の名称「上野の山でツルめぐり」 ②参加者の氏名（フリガナ）（一枚に2名まで） ③職業/学年・年齢 ④住所 ⑤電話番号を書いて、下記の宛先にお送りください。

〒110-8711 台東区上野公園9-83

恩賜上野動物園 教育普及係「上野の山でツルめぐり」係

【問い合わせ】電話03-3828-5171

※当日、取材が入る場合がありますので、ご了承ください。

※申込みに際して収集した個人情報につきましては、本事業にのみ使用し、終了後は速やかに破棄します。

### 8. 締切 平成22年5月6日（木） 当日消印有効